

**◆事業方針（計画等における位置付け）**

狛江市教育復興基本計画の中で、学習機会の提供および教育環境の整備に基づいた施策として位置づけている。地域と学校の連携を深め、学校における教育活動の充実に繋げるほか、関係部局や関係機関と協力して地域人材の教育活動や地域活動への参画を促していく。

**◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等を含む）**

狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1・2・3・4」を利用し、ボランティアの人材派遣等を行っている。

**◆運営委員会**

一つの学校のみで運営しているため、学校支援地域本部を運営委員会としている。学校と地域を結びつける役割を担うコーディネーターを委嘱し、協力機関である「こまえくぼ1・2・3・4（狛江市市民活動支援センター）」がオブザーバーとして参加する。

**◆広報活動（パンフレット、HP 活用、広報誌、報告書など）**

現在は特に行っていない。

**◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進**

都からの研修等を利用しつつ、事業理解の促進を図っている。

**◆成果**

取り組みが始動したばかりのため、まだ大きな成果等は得られていないが、学校での学習支援事業などを通し、学校におけるクラスの状況改善などが見られている。

**◆課題・展望**

・現在一つの学校にて学習支援ボランティアを実施しているが、今後更なる活動の充実に繋げることを課題の一つとしている。

・狛江市はこの取り組み自体が始動したばかりで、現在試行段階である。今後は複数の学校でも実施できることを目標とし、他の自治体の取り組み等を参考にしながら、さらなる活動の幅を広げていきたいと考えている。